

2022年11月7日
丸紅株式会社
株式会社長大（人・夢・技術グループ）
南海電気鉄道株式会社

「空飛ぶクルマが叶える“未来型旅行体験”モニターツアー」の実施について

～11月10日（木）から募集開始！～

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）、株式会社長大（人・夢・技術グループ）（以下、「長大」）、南海電気鉄道株式会社（以下、「南海電鉄」）ならびに東京海上日動火災保険株式会社（以下、「東京海上日動」）は、大阪府の補助金（*）を受けて推進中の空飛ぶクルマ社会実装に向けた実証実験の一つとして、2022年12月からモニターツアー（以下、「本ツアー」）を実施します。

本ツアーでは、空飛ぶクルマの利便性を示すため、模擬飛行として、空飛ぶクルマが実用化された際の想定運賃で、大阪ヘリポート（舞洲）から那智勝浦の宿泊施設「碧き島の宿熊野別邸中の島」まで、ヘリコプターで移動していただき、一島一旅館である碧き島の宿熊野別邸中の島に宿泊いただきます。移動手段として、ヘリコプターを用いることで、現在陸路で3時間半以上かかる大阪市一那智勝浦町間を、1時間以下で結び、移動時間を滞在時間に変えることを可能とします。快適で優雅な旅を、本ツアー限定価格で存分にお楽しみください。本ツアーの詳細は別紙のとおりです。



空飛ぶクルマ（イメージ）



碧き島の宿熊野別邸中の島

（*）空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業補助金：大阪府の「空の移動革命社会実装に向けた大阪版ロードマップ」アクションプランに基づき、将来の大阪において空飛ぶクルマを活用したビジネス展開を目指している事業者が行う各種取り組みを支援し、空飛ぶクルマの実現性をより高めるための補助金。

別紙「空飛ぶクルマが叶える“未来型旅行体験”」

大阪・和歌山（碧き島の宿熊野別邸中の島、以下「中の島」）を結ぶルートへヘリコプターで通常運賃よりお得な価格で移動していただき、一島一旅館である「中の島」に宿泊いただく1泊2日の旅行商品です。

1. 実施期間

ターム①：2022年12月14日（水）～18日（日）出発 【11月23日（水）応募〆切】

ターム②：2022年12月21日（水）～25日（日）出発 【11月30日（水）応募〆切】

ターム③：2023年1月18日（水）～22日（日）出発 【12月31日（土）応募〆切】

（各ターム内は毎日催行します。）

各日程1日2組（1組2名）まで、計30組60名 ※募集人数を超えた場合は募集期間終了後に抽選。

2. 料金

89,000円（税込み）／1名

※料金には、大阪ヘリポート（舞洲）から那智勝浦までの往復移動、「中の島」での宿泊（1泊2食）の各費用が含まれます。また、その内40,000円（往復）が現時点で想定する空飛ぶクルマの運賃になります。

	料金	時間
 空飛ぶクルマ (丸紅想定)	約2万円/人/片道	約30分
 ヘリコプター	約17万円/人/片道	約50分
 鉄道 (大阪駅発)	約7,000円/人/片道	約4時間
 タクシー (3人乗車時)	約3万円/人/片道	約4時間

既存交通手段との比較表

3. 応募方法

本ツアー参加希望調査アンケートは[こちら](#)

【募集期間】2022年11月10日（木）～ ※各タームごとに応募〆切が異なります。

4. 行程（予定）

※天候等の影響により変更の可能性があります。

	内容
1日目	・大阪ヘリポート（舞洲）にて空飛ぶクルマVR体験
	・大阪ヘリポートより出発、「中の島」（那智勝浦）着

	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックイン後自由行動 ・「中の島」泊
2 日目	<ul style="list-style-type: none"> ・（オプションツアーで那智勝浦観光が楽しめます）
	<ul style="list-style-type: none"> ・「中の島」より出発、大阪ヘリポート着

5. 感染症対策

- ・国のガイドラインに基づき必要箇所での検温、体調チェック、アルコール消毒を実施します。
- ・スタッフは、マスク着用にて、接客します。

6. 旅行手配 株式会社南海国際旅行

7. 協力 株式会社中の島、小川航空株式会社

8. その他 ヘリコプター搭乗の際には、運航会社の約款に従いご搭乗いただきます。

【参考】「中の島」について

所在地：和歌山県東牟婁郡那智勝浦町勝浦 1179-9

<特徴>

- ①勝浦湾に浮かぶ小島「中ノ島」そのものが周囲を海に囲まれた「他に類を見ない一島一旅館」であり、どこからでも眼前に美しい紺碧の海を眺めることができます。
- ②島内に 6 本の源泉を擁し、1 日 700 トン、毎分 486 リットルの湧出量という豊富な湯量を誇り、露天風呂等、源泉掛け流しの天然温泉がございます。

※「中ノ島」は、那智勝浦に浮かぶ小島、「中の島」は旅館名として記載しています。

【本ツアーについて】

本ツアーは、空飛ぶクルマの利便性を示すため、模擬飛行として、大阪ヘリポート（舞洲）から那智勝浦の宿泊施設「中の島」までヘリコプターで移動するモニターツアーを実施するもので、大阪府が公募した「令和 4 年度 空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業補助金」に採択されています。本ツアーの結果を踏まえて、4 社は、2025 年度の大阪府内における空飛ぶクルマの運航事業の早期実現に向けて取り組みを進めます。

【各社の空飛ぶクルマ領域におけるこれまでの取組概要】

丸紅：運航事業の実現に向け、事業性の評価を行う他、空飛ぶクルマを活用したサービスの認知度及び社会受容性の向上に貢献すべく、丸紅グループが提携する英・Vertical Aerospace Group Ltd.ならびに米・LIFT AIRCRAFT INC.と調査検討を実施していま

す。加えて、経済産業省・国土交通省が共同で主催する「空の移動革命に向けた官民協議会」や大阪府主催の「空の移動革命社会実装大阪ラウンドテーブル」に参画しています。

- 長大 : 長大では、これまで我が国の社会インフラ整備全般を担う総合建設コンサルタントとして培ってきた多くの経験とノウハウ、確かな実績を活かし、「空飛ぶクルマ」の実装や様々な展開に必要なコンサルティングサービスを提供しています。現在、国土交通省航空局から受託した「空飛ぶクルマ離発着場基準に関する基礎調査」において国内パーティポート基準作成に向けた検討及びドラフト(案)作成に取り組むと共に、経済産業省・国土交通省が共同で主催する「空の移動革命に向けた官民協議会」や大阪府主催の「空の移動革命社会実装大阪ラウンドテーブル」などに参画しています。
- 南海電鉄 : 南海電鉄では、中長期的なまちづくりや沿線観光地への誘客の視点から、新たな技術を活用したモビリティを導入することで、先進的で魅力の高いエリアを構築できると考えています。その中で、今後世界的に普及すると考えられており、かつインパクトの大きい「空飛ぶクルマ」を事業エリアで早期に活用することで、訪れたいまちとしての価値向上、当社が掲げるサステナブル重要テーマのひとつである「夢があふれる未来づくり」の推進につなげることを目指し、大阪府主催の「空の移動革命社会実装大阪ラウンドテーブル」への参画や SkyDrive 社との連携協定の締結などを行っています。
- 東京海上日動 : 2019年に国内で初めて空飛ぶクルマを開発中の企業に対して保険提供を開始するなど、航空産業を安心と安全の観点からお支えしています。三重県内での空飛ぶクルマの実用化に向けた包括協定の締結や、大阪府内での空飛ぶクルマの啓発活動・事業性調査の実施、大阪ベイエリアでの航路実現性調査事業への参加など、空飛ぶクルマの実現に向け様々な事業者や自治体と連携した取組みを進めております。また、経済産業省・国土交通省が共同で主催する「空の移動革命に向けた官民協議会」や大阪府主催の「空の移動革命社会実装大阪ラウンドテーブル」にも参画しています。

* 大阪府ウェブサイト「令和4年度 空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業補助金」:

<https://www.pref.osaka.lg.jp/energy/evtol/hojyokin-soratobu.html>

【各社概要】

<丸紅>

社名 : 丸紅株式会社

代表者 : 代表取締役社長 柿木 真澄

本社所在地 : 東京都千代田区大手町一丁目 4 番 2 号

HP : <https://www.marubeni.com/jp/>

事業内容 : 丸紅及び連結子会社は、国内外のネットワークを通じて、ライフスタイル、情報・物流、食料、アグリ事業、フォレストプロダクツ、化学品、金属、エネルギー、電力、インフラ

プロジェクト、航空・船舶、金融・リース・不動産、建機・産機・モビリティ、次世代事業開発、次世代コーポレートディベロップメント、その他の広範な分野において、輸出入（外国間取引を含む）及び国内取引の他、各種サービス業務、内外事業投資や資源開発等の事業活動を多角的に展開しています。

<長大>

社名 : 株式会社長大

代表者 : 代表取締役社長 野本 昌弘

本社所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目 20 番 4 号

HP : <https://www.chodai.co.jp/>

事業内容 : 長大は総合建設コンサルタントとして、社会インフラ全般の整備や維持管理、またそれらの課題解決に取り組んでいます。橋やトンネル、道路や鉄道、港湾や河川などの土木構造物全般の計画、調査・設計、また都市・地方計画や道路・交通計画などの総合的なまちづくり、学校や病院施設の計画・設計といった幅広い分野で、確かな知識と技術力、と創造力を発揮しています。

<南海電鉄>

社名 : 南海電気鉄道株式会社

代表者 : 代表取締役社長 遠北 光彦

本社所在地 : 大阪市浪速区敷津東二丁目 1 番 41 号

HP : <https://www.nankai.co.jp/>

事業内容 : わが国最初の純民間資本による鉄道会社として設立され、鉄軌道、バス、フェリーなど交通輸送体系の充実のほか、都心開発、沿線郊外における大規模住宅開発、宿泊施設の運営等、沿線の豊富な資源を活かした事業を組み合わせることにより、沿線エリアの発展を下支えしてきました。これからも南海グループは、安全・安心な移動サービスを基軸に、多様な事業で人々の生活を支えてまいります。

<東京海上日動>

社名 : 東京海上日動火災保険株式会社

代表者 : 代表取締役社長 広瀬 伸一

本社所在地 : 東京都千代田区大手町二丁目 6 番 4 号

HP : <https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

事業内容 : 東京海上日動は損害保険会社としてお客様の信頼をあらゆる事業活動の原点におき、「安心と安全」の提供を通じて、豊かで快適な社会生活と経済の発展に貢献することを経営理念に掲げています。今後もお客様と社会の「いざ」を支えるために挑戦を続けてまいります。

【報道関係の方からのお問い合わせ先】

丸紅株式会社 広報部報道課

電話 : 03-3282-3906

株式会社長大 新事業イノベーション推進部

電話 : 03-3532-8612

南海電気鉄道株式会社 社長室総務広報部

電話 : 06-6644-7125

以上